

ふれあい運動会の恒例開催



【庄内学区】

■世帯数：6,418 世帯

■人 口：14,091 人

■面 積：1.804 k m²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- ・ 庄内小学校において運動会を開催している。延べ参加者数は約 1,000 人。
- ・ 企画・運営体制を決め、実施競技を検討し、進行スタッフの役割分担を明確にしたうえで実施している。参加者の募集は小学校を通じて行う。

【住民へのPR方法】

チラシの回覧、掲示板への掲示、小学校を通じて参加の呼びかけ

【アピールポイント】

町内会同士がよくまとまっており、各世代が参加するジェネレーションリレーなどでは最高潮の盛り上がりをみせる。

2 きっかけ、背景

子どもから高齢者まで、地域住民の交流の場をつくりたいとの思いから、PTAやオヤジクラブのメンバーが立ち上がり、運動会の開催にこぎつけた。平成24年で6回目の開催となる。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、民生委員児童委員、保健委員、消防団員、PTA、オヤジクラブ、女性会、老人クラブ、スポーツ推進委員、小学校

計約 150 人

(2) 他団体との協力

庄内学区連絡協議会

(3) 運営協力

他の行事（ドッジボール大会、夏祭り）でも住民同士の親睦を図っている。また、各団体の業務負担が偏らないように努めている。

4 実施のスケジュール

毎年 7 月初旬 実施体制の確認

7 月中旬 参加者の募集（小学校を通じ、生徒や家族の参加を呼びかけ）

8 月後半 参加者の取りまとめ

9 月 内容の確認、役割分担の確定、購入品の確定
各町内で、各競技の参加者の割り振り作業

10 月 ふれあい運動会の開催

5 成果と課題

(1) 成果・効果

- ・ 住民意識が高まり、住民間の交流が深まった。
- ・ 子どもから大人まで、様々な年代の住民がひとつになって楽しむことができた。

(2) 苦労した点

- ・ 少子化の進むなか、参加者数の減少が不安要素となっている。
- ・ 業務繁忙の折、担い手が不足しがち。

(3) 今後の課題・展望

- ・ 担い手の世代交代が課題。参加者や活動の担い手を増やすため、日頃からの活動が重要。

